

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	西宮すなご医療福祉センター児童発達支援事業ねっこ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		～ 2025年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 24名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 29日		～ 2026年 1月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園を基本としているため、保護者にも一緒に療育にご参加いただく中でお子さんへの対応を学んでいただいたり、定期的に保護者クラス(学習会)を開催したり、お子さんへの支援だけではなく家族支援にも力を入れています。	お子さんへの関り方を療育の場で保護者に伝えることを心掛けています。また、定期的に懇談を行うことで保護者の相談を受け、集団クラスでは隔月で保護者クラス(学習会)を行っています。	左記の取り組みを継続する中で、さらに保護者の方が相談しやすい雰囲気づくりや、異年齢のお子さんの保護者が交流できる環境づくりに取り組みます。
2	当センターの診療部門(医師、リハビリ、心理)と連携をはかりお子さんの支援につなげています。	お子さんの様子や発達検査の結果等、定期的な会議の場で情報共有を行い、療育プログラムの立案や実際の支援に役立てるようになっています。	全てのお子さんが当センターの診療部門をご利用されているわけではないため、まずは当センターの診療部門について丁寧に説明して医療と繋がっていただく。もしくは、他の医療機関をご利用されている方に関しては、他機関との情報共有や連携に努めます。
3	親子通園の集団クラス(2～3歳児)では、当センターの作業療法士が定期的に療育に参加し、お子さんへの直接支援や家族支援を行っています。	毎月、担当の作業療法士と本事業所の保育士が会議を行うことで、お子さんの運動発達について評価を行い、療育プログラムや個別支援計画の立案に役立っています。また、保護者へのアンケートを通して、お子さんの発達や特性に関する悩みについても作業療法士が相談を受けています。	引き続き当センターの作業療法士と連携してお子さんや保護者への支援を行います。また、言語療法士による学習会を検討していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の送迎がありません。	送迎に必要な送迎車や人員の確保が難しいため、送迎ができない状態です。	本事業所では駐車場や駐輪場が設置されており、また駅も近いためそのような移動支援のご利用を提案させていただきます。
2	地域の幼稚園や保育所、こども園などと交流する機会がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育時間が1時間のため、保育所などと時間を合わせて活動することが難しい状況です。</li> <li>多くの利用児が幼稚園や保育所を併用しているため、家族がそのような機会を必要と思いません。</li> <li>初めての場所や人などに対して苦手な子どもが多く、配慮が必要になるため、交流の機会を考えることに消極的になっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の意見をつのり、検討していきます。</li> <li>就園前の利用児を対象に保育所や幼稚園はこんなところとわかるような交流を検討します。</li> </ul>
3	利用児も参加した避難訓練をする機会がありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は毎年センターの避難訓練に参加していますが、利用児がいない時間なので、一緒に避難訓練をしたことがありません。</li> <li>いつもと違うことが苦手なお子さんなので、配慮が必要なため訓練をすることに消極的になっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず職員会議で机上のシミュレーションを行い、訓練をすることの課題をあげて対処方法を検討してみます。</li> <li>子どもと保護者に説明する日を設けてから、実際の訓練を行うように検討します。</li> </ul>